

教育プログラムの概要及び採択理由

機 関 名	立教大学	申請分野(系)	人社系
教育プログラムの名称	「ツーリズム・イノベーター」の戦略的育成		
主たる研究科・専攻名	観光学研究科観光学専攻		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科専攻名)			
取組実施担当者	(代表者) 稲垣 勉		

[教育プログラムの概要]

■社会的要請が高まる、観光分野の高度研究・教育専門人材「ツーリズム・イノベーター」の育成

立教大学大学院観光学研究科(以下、本研究科)は「ツーリズム・イノベーター」の戦略的育成を行なう。「ツーリズム・イノベーター」は観光学分野の博士号を持つ高度研究・教育専門人材であり、本プログラムを通じて①社会に対して観光の新機軸を提示できる**観光産業のプロフェッショナル**、②高等教育機関でこうした人材を育てる**観光教育のプロフェッショナル**、という2つのプロフェッショナルを育成する。

近年の観光は、高齢化、価値観の多様化、情報化、高速交通網の発達などに伴い、それまで主流だった旅行産業主導の「団体観光型」から、文化交流や体験学習など一人ひとりのニーズに即した「個人観光型」へと変化した。しかし、国内の観光産業・旅行産業や観光地の多くは、この構造変化に対応できず停滞している。構造変化に対応できない原因は、観光産業の国際競争力の低下や観光地の人材高齢化など外的要素だけでなく、観光ビジネスや政策が依然として旧来のパラダイムの上で発想されている点が大い。

この停滞を変革できるのは、マーケティングや経営効率化といったビジネス技法にのみ依拠するのではなく、観光現象をより長期的視点から学際的・科学的に分析し、観光の構造変化を乗り越える新たなパラダイムと新機軸(ツーリズムのイノベーション)を社会に対して大胆に提示できる人材である。観光立国を掲げるわが国において、実務とは一線を画す「研究」という立場から観光のパラダイムシフトを先導し、観光領域の産業や政策のイノベーションを創発できる高度研究・教育専門人材「ツーリズム・イノベーター」を育成することは大きな社会的要請であり、本研究科が掲げる人材像そのものである。

■本研究科の教育実践を継承する「ツーリズム・イノベーター」育成プログラム

「ツーリズム・イノベーター」は、①実社会における**観光現象を科学的に観察する能力**、②そこで発見した課題を複数の学問分野を融合して**分析する能力**、③**研究成果を社会に還元する能力**、を備えた「研究総合力」を培うことにより育成される。本プログラムでは、約40年に及ぶ観光の学際的**教育の蓄積を活かし**、5年間の一貫性あるコースワークと組織的な研究指導を通じて、学生が自らの研究成果を観光産業界に還元できる総合的な能力を持つ高度研究・教育専門人材として「ツーリズム・イノベーター」を育成する。

前期課程では、研究生活の基礎を学ぶ**導入教育**、講義とプロジェクト型学習(PBL)をバランス良く取り入れた**実践的な授業科目**、本研究科が提携するホテル・リゾートや観光地・自治体など**具体的な研究対象を定めたフィールドワーク**、希望する学生に対して最適な研究発表機会等を提供する「**学修支援システム**」による**自立的学修**を通じて、獲得した知識・技能を用いて研究プロジェクトを的確に**管理・遂行**できる「**研究マネジメント能力**」を養う。学生は、この能力を活かした**実践的な研究テーマ**について修士論文を作成する。

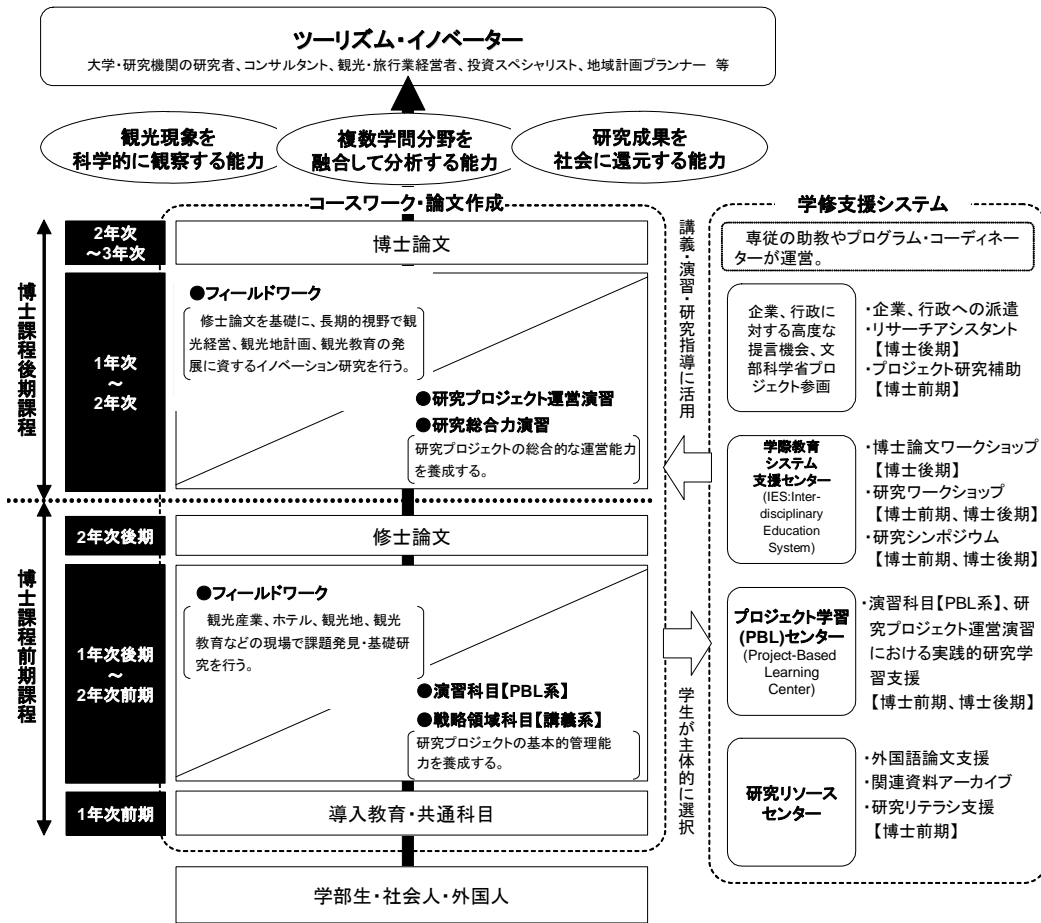
後期課程では、より高度なフィールドワークや研究プロジェクト運営演習において**観光ビジネス企業や行政**における経営戦略や政策イニシアティブ等に関する高度な提言を行う機会や、文部科学省オープン・リサーチ・センターにおける**産業界との共同研究**等の機会を提供し、「**問題発見**」→「**仮説設定・調査分析・検証**」→「**新パラダイムに基づいた実践**」を主体的に運営する「**研究総合力**」を養う。学生は、研究科を基盤とする学際**的研究指導体制**のもと、観光のパラダイムシフトを導く博士論文を作成する。

■本研究科教育への新たな社会的期待に応える「ツーリズム・イノベーター」育成プログラム

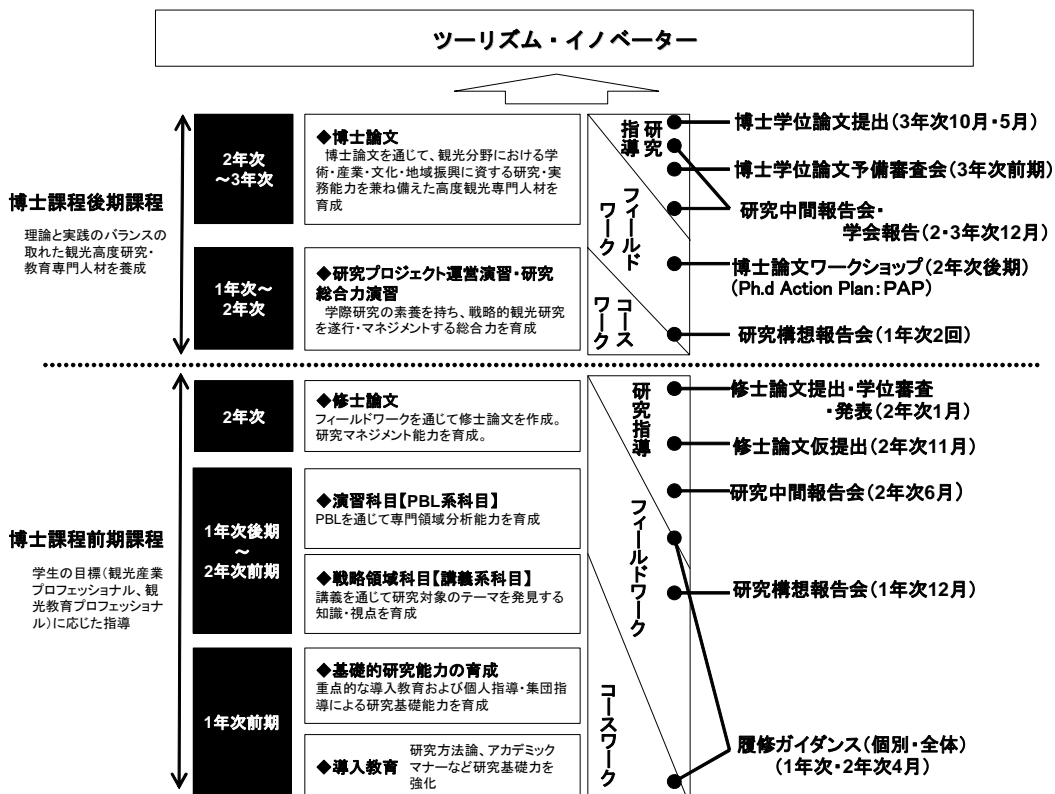
本研究科は、観光領域で博士号を授与できるわが国唯一の大学院として独自の**人材養成**を実践してきた。近年は、旅行産業やホテル産業における**上場企業**、**観光戦略**を有する**地方自治体**、**観光教育**を行う**高等学校**など、**観光産業・観光行政・教育**等の**実務者**が約半数を占めるまでになり、**大学教員**ならびに**研究者**はもとより、**博士号取得**後に**ホテル経営**の**コンサルティング**や**海外政府観光省**の**企画部門**で活躍する**幹部人材**をも輩出している。これは、**観光経営系**の**経営大学院(MBA)**と異なり、**観光産業界**で**実際に起きている**パラダイムシフトを**科学的視点**から**研究する能力**を育成する**本研究科教育**に対して、**産業界**の**関心やニーズ**が**確実に増大**していることの現われといえる。本プログラムは「**ツーリズム・イノベーター**」人材の**戦略的な育成**を通じ、このような**本研究科**に対する**社会的期待**に応え、**研究科教育**の一層の**充実**を目指す。

履修プロセスの概念図（履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。）

■履修プロセス



■研究指導プロセス



立教大学：「ツーリズム・イノベーター」の戦略的育成

<採択理由>

大学院教育の実質化の面では、過去の実績に基づいて、観光学分野における高度な研究・教育専門人材「ツーリズム・イノベーター」を育成するという目的が明確に掲げられており、それに沿った履修プロセス及び研究指導プロセスが体系的に編成され、その展開のための充実した指導体制が整備されている点は評価できる。

教育プログラムについては、「ツーリズム・イノベーター」育成のための現行カリキュラムの改編及び「学修支援システム」の整備が推進されており、特に、「学修支援システムにおいて」、「学際教育システム支援センター」、「プロジェクト学習センター」、「研究リソースセンター」を立ち上げ、学生に対して最適な研究発表機会等を提供するなど、組織的な推進体制を構築する点は評価できるが、海外大学との連携事業及び海外への発信等については、計画の実施に向けて更なる具体化が望まれる。